

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol.8

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



平成最後の2月、雪景色の中をSLが走る！ 成田RC角田会員の設計した新鋭7号機を昭和10年製の古豪6号が後押しします。(成田ゆめ牧場にて)

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡 靖彦
地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」
ロータリー特別月間／平和と紛争予防／紛争解決月間

2

2020
February

ロータリーの誕生日 (その1) 1905年2月23日

国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)



1905年、シカゴでロータリーが誕生してから今日まで115年の時が刻まれました。

20世紀初頭のシカゴの街は著しい社会経済の発展変動の蔭で、悪徳と腐敗がはびこる、商業道徳の乱れた状態にありました。「友愛と奉仕」を核とするロータリーが発芽する温床として、これほど適した客観条件はなかったといわれています。

32歳のPaul Percy Harrisは5年間の「放浪生活」を終えて、シカゴに居を定め弁護士事務所を開業したのですが、この街になじめず、寂しい思いをしていました。望郷の念にかられてバーモント州ウォリングフォードを訪ね、幼い日の祖父母の教えや思い出をたどり、懐かしい山野に抱かれているうちに、ふと人間は夢を持たなければならないことに気付きました。

シカゴに戻りますが、平日は仕事に打ち込んで日曜、祭日は身を持って余り寂しさに襲われます。ファーストネームで呼び合える友達がいないことに思い当たりました。この大都会シカゴでもウォリングフォードのように名前呼び合える各種職業人の、政治や宗教の立場を離れて、お互いの意見を大らかに認め合えるような人を1人ずつ集めたら、という構想が浮かびました。彼はこの思いをじっくり温めて、熟慮に熟慮を重ねた結果、1905年2月、3人の実業家に声を掛けて、お互いが故郷の村で相互の協力を推進したり、お互い

に裸の付き合いを深めるやり方について案を出したところ、全員が賛成してくれました。

そして2月23日木曜日の寒い夜、北ディアボーン街127番地ユニティビル7階711号室ガスターバス・ローア エンジニア事務所でクラブの最初の会合が開かれました。ポールの夢が実現しました。定期会合が始まったこの日2月23日が公式のロータリー創立記念日とされています。

ポールの始めたロータリーの原点に何を見るべきでしょうか？ ポールの贈り物は第1に仲間の大切さ、第2はお互いを思いやるやさしさ(友愛と寛容の精神)、第3に心の寂しさを癒すくつろぎの場でしょうか。

相互の親睦に互惠の取引が原始ロータリークラブの姿でしたが、クラブの閉鎖性が指摘され、ポールはこれを撤回して、やがて地域社会への奉仕の指向が生まれました。1908年に、後にロータリー運動で活躍するアーサー・F・シェルドンとチェスリー・R・ペリーが入会して、奉仕の理論的、実践的裏付けが進みました。ポールは自伝『ロータリーへの道』で次のように述べています。

- 人間は苦しんで初めて向上するものです。先ず誰が必要なものに心を描き、どうやって実現しようかと苦勞しなければ構想はまとまりません。これまで苦勞したおかげで、私は人間には交友関係が必要なることに気が付きました。これは恐らく自然の摂理です。人間には人間同士の付き合いが必要なることがはっきりしました。
- ロータリーとは何か。もしもロータリーが人間とか人生というものを、一層温かい目で眺めるように我々を導いてくれるなら、もしもロータリーがお互いの長所を認めるために、より一層寛容で熱意を持つように教えてくれているなら、もしもロータリーが人生の楽しさと美しさを発見して、それを広めようとしている同志相互の親睦の場であるならば、ロータリーは我々の望みをすべてかなえてくれる。

※参考文献：PAUL P. HARRIS : My Road to Rotary ; THE STORY OF A BOY A VERMONT COMUNITY, AND ROTARY 邦訳三訂版 柴田實訳 (2011年1月 成田ロータリークラブ発行)

第4グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第4グループ ガバナー補佐
時田 清次 (市原中央RC)

「クラブを元気にする」をテーマに開催
第4グループの情報研修会は11月19日(火)五井グランドホテルで行いました。研修会の参加者は67名、懇親会の参加者は48名でした。

今回の情報研修会のテーマは「クラブを元気にする」となっています。DVD「ロータリーの理念」を上映することにより、ロータリークラブの歴史、理念を学び、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高めました。

その後テーブルディスカッションを「クラブを元気



にする」「クラブの良いところ」というテーマで、2セッション実施しました。活発なディスカッションを行い、有意義な機会だったという意見が多くありました。

また、例会月2回のクラブが、委員会や炉辺会議などを行い、工夫していることが理解できました。

第4グループの今回の特色として、1つ目は4グループの会員名簿を作ったことです。2019-20年度のRIテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」となっています。会員のつながりは重要であり、会員名簿を作ることにより、多くの「つながり」を持つことができます。地域社会とつながり、職業のネットワークを拡げたいと思います。

もう1つは、懇親会でロータリアンのバンドによる演奏を行ったことです。ロータリーに参加して懇親を深め、楽しかったと思えることは大事だと思っています。

それがクラブの活性化と地域社会の活性化となり、より大きな力となって諸岡靖彦ガバナーのスローガンである「ロータリーから千葉を元気に」することにつながるかと信じています。

第5グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第5グループ ガバナー補佐
小川 義則 (袖ヶ浦RC)

「クラブの活性化」をテーマに開催
台風15号・19号、そして21日には過去最高の豪雨被害に遭われた方が多い中、10月16日に木更津ビューホテルで、第5グループ情報研修会を参加者58名で開催いたしました。

「クラブの活性化」をテーマに、サブテーマとして「みんなで語ろう、我がクラブの自慢と弱点」を掲げ、木更津RC 高村直道会長・富津中央RC 渡辺哲夫会員・木更津東RC 藤永範行会員・君津RC 岡野裕会員・袖ヶ浦RC 小河原仁会員・富津シティRC 高木一彦会長より、自慢と弱点を発表いただきました。

上総RC 鳥井正俊会長・川名史奏幹事からは上総地区の被害状況、災害復旧に携わった事業者としての現状と感じたことを発表していただきました。

木更津RC 後藤良子会員・富津中央RC 玉井百合子会員・木更津東RC 田口理沙会員・君津RC 内山貴美

子会長(代理発表・武田富士子幹事)・袖ヶ浦RC 奥田晴美会員・富津シティRC 江藤康子会員、6名の女性会員からは「女性目線での魅力あるロータリークラブとは」について発表をいただきました。

発表後、各クラブ会長エレクトより、次年度の参考になったか感想を発表してもらいました。

第5グループの自慢は和気あいあいとした例会運営で、弱点はやはり会員増強と高齢化問題、女性会員からは男性には気が付かないような発表もあり、とても参考になりました。

最後に吉野和弘(君津RC)直前ガバナー補佐より丁寧な講評をいただき、和やかな情報研修会でした。

懇親会では参加者全員に研修会の感想をいただき、楽しい時間を過ごせました。台風被害復旧もまだまだな状況の中、情報研修会に参加いただき心より感謝申し上げます。



第8グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第8グループ ガバナー補佐
石井 哲也 (銚子東RC)

「ロータリーのここが好き・ここが嫌い」をテーマに開催

11月10日、銚子商工会議所大ホールにて第8グループ情報研修会を開催。当グループ内クラブに限ったことではありませんが、各クラブが会員増強が課題となっていることを受け、ロータリアン各人がロータリーの魅力の再認識するとともに、将来に向けての課題を洗い出すことから始めてはどうかと考え、「ロータリーのここが好き・ここが嫌い」というテーマでテーブルディ

スカッションを実施しました。

ディスカッションは所属クラブの枠を超えて4テーブルに分かれ、各クラブの会長にディスカッションリーダーを務めてもらう形で進行。ディスカッションは前半40分、ハーフタイム10分、後半40分と、先般盛り上がったラグビーの試合時間に合わせて設定しました。

クラブ、入会歴、年齢等の異なる人が集まる中で、日頃ロータリーについて感じていることを、自由闊達に意見の交換をしていただきました。その後各テーブルの代表者からテーブル内で挙げた意見を発表してもらい、全員で共有することができました。その内容については公表しないことを前提として意見交換してもらったので、ここではどんな意見があったのかは控えさせていただきますが、ロータリーの絆を強く感じる時間を過ごすことができました。

参加してくれた皆様に心より感謝申し上げ、第8グループ情報研修会の報告とさせていただきます。



第9グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第9グループ ガバナー補佐
保津 豊徳 (佐原香取RC)

「ロータリーを元気にするために」をテーマに開催

第9グループでは11月9日、「ロータリーを元気にするために～ここが変だよロータリー～」をテーマに、「川の駅」多目的研修室において情報研修会を開催しました。当初予定されていた会場が使用できなくなり、急遽会場を変更しましたが、46名の会員が参加し、6テーブルに分かれディスカッションしました。

内容としては、会員増強（退会防止）、奉仕活動・例会のあり方、寄付金等についてでした。このテーマを掲げた意図としての1つは、一般のロータリアンはどのような不満・意見を持って活動をしているのか。また、それはロータリーへの知識不足による誤解・偏見なのか、単に意固地になって生じた不満なのか、を掘り起こし、ベテランロータリアンにフォローしてもらい手をつないでもらうことでした。

もう1つは、消極的ですが「あの人が、あの先輩が、不満がありながらも活動しているという背中を見て、自分も付いていこう」と思ってもらえる事もあるとの考えからでした。

ディスカッションリーダーからの発表で反響の大きかった意見は、「この地区の経済状況、人口減、高齢化は深刻で、この地区での若手の勧誘は難しい」「規制緩和により簡単に入会し退会してしまう」「自分が欠席すると例会が寂しくなるから」「クラブ内の年代の壁の打破は中堅会員の努力が必要」「退会防止の策は年配会員の仕事」というものでした。

このように、入会3日目の新人から約40年のベテランまで、幅広い年齢層によるそれぞれのロータリー経験からの熱い意見交換ができました。



第12グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第12グループ ガバナー補佐
猪飼 清文 (八千代中央RC)

「女・男会員の視点から現況と増強」
をテーマに開催

総評をお願いしております橋岡久太郎パストガバナー、寺嶋哲生地区研修サブリーダー、中村俊人地区研修副委員長、周藤行則地区RLI推進委員に、オブザーバーとして出席していただきました。

本日の趣旨説明を行った後、佐倉市内の大雨による災害状況報告と災害義捐金のお願いをし、後半で夏海佐倉RC会長に現段階での状況説明をお願い致しました。

第1部では、女性会員と入会5年未満の会員の方9名が壇上に上がり、質問形式にてお話をしていただき

ました。その中には、女性会員より「クラブとして女性会員がいるという事実で、どれほど和やかな雰囲気になったか」また、「女性会員、男性会員と分けて考えたこともなく、それ自体がナンセンス」「女性会員が1人入会することで、2人、3人と増えてくるもの」などの意見がありました。

他にも「世の中の変化を鑑みると、保母さんから保育師さん、看護婦さんから看護師さんへと変化を見てみると従前とは異なることが必然的に分かります」等、活発なご意見をいただきました。

途中、突然の諸岡靖彦ガバナーの来訪があり、ガバナーの意見も十分にお聞かせいただきました。

第2部は、テレビ放映もあった佐倉市内の状況を、画面を通して会員に報告致しました。フリートークについては、やり方が分からず、グループ内の崎山征雄パストガバナーにご意見を伺い、難しく考えずに行いました。フリートークといっても手を挙げる会員もいないので、クラブ内での女性会員増強のための手段を、前列に座っておられる各クラブ会長に問い、グループ内女性比率の高い佐倉中央の橋岡パストガバナーにも意見を伺いました。各発言者からは、厳しい意見等もありましたが、無事に閉会致しました。



第14グループ ロータリー情報研修会報告



2019-20年度
第14グループ ガバナー補佐
山崎 達男 (野田セントラルRC)

「より元気なクラブを目指して」を
テーマに開催

去る2019年11月9日、ビジネスホテル野田にて、第14グループ内5クラブ(野田RC、流山RC、流山中央RC、野田東RC、野田セントラルRC)の情報研修会を開催しました。グループテーマは「より元気なクラブを目指して」でした。

漆原摂子ガバナーエレクトの基調講演では、2004年に「CLP」が導入され、2～3年後の実態を見据えたクラブの戦略計画づくりが打ち出されたこと、ポリオ根絶を前面に出し関心と呼ぶ戦略、そしてモチベーションを保つには会員の具体的役割が重要なこと、そして柔軟性を持ったさまざまなクラブ運営の実例が分かりやすく説明されました。

その後、参加者48名が6つのテーブル

に分かれ、テーマに沿ったグループディスカッションを行いました。各テーブルには、オブザーバーとして寺嶋哲生地区研修サブリーダー、中村俊人地区研修副委員長、小寺眞澄地区研修委員、山本衛地区RLI推進委員、周藤行則地区RLI推進委員、それに漆原ガバナーエレクトにも加わっていただきました。

ディスカッションリーダーの進行の下、各テーブルにおいてさまざまな意見が出て有意義な討論が繰り広げられました。5つのクラブの会員がバラバラに配置分けされたことで、他クラブの年齢・ロータリー歴もさまざまな会員の意見が聞くことができ、貴重な経験になったのではと思います。

自分たち会員にとって例会出席が楽しく、面白くて活気あふれるクラブなら、自然と会員候補者を誘うことができるのだと、改めて確信した1日でした。



インターアクト国外研修レポート



2019-20年度
インターアクト委員会
委員長 藤代 祐孝 (四街道RC)

14校のインターアクトクラブから19名が選抜され、顧問教諭、ロータリアン、地区委員の引率者9名の合計28名で、台北市に11月8日～11日の3泊4日国外研修に行っていました。

“海外のインターアクトとの交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養う”がインターアクトのテーマと捉え、この研修を通じて、多くの仲間づくりと積極性と協調性を養ってもらいたいと考えて、第3522地区（台北市）インターアクト委員長と企画を作ってみました。

1日目と2日目午前中までは、永平高校の国際交流活動を学び、生徒たちとは卓球交流をし、バーベキューで食事を共にしました。

2日目の午後と3日目丸一日の日程内容を、日台インターアクト合同班別行動をメインとして活動いたしました。決められた目的地にみんなで移動し活動をするのではなく、自分たちで考えて移動をし、ボランティア活動や行動を共にし、日台インターアクト同士での話をする機会を、できる限り多くの時間を取ってみました。

4日目は総統府での歴史を学び、限られた時間でお土産を慌てて購入し、全員無事帰国いたしました。

参加したインターアクトにとって、国外での良い学びと体験の場となったのも、提唱校、提唱クラブ、家族、その他関わった皆様方のご理解ご協力、お力添えがあってこそです。未来のロータリアン、そして国際社会へと積極的に活動していく若い人たちへの一助となったのではないかと思います。



参加生徒19名と引率の千葉商業高等学校村川先生



3522地区ロータリアン、インターアクトの皆さんと



班別行動で献血運動

青少年交換帰国報告会



2019-20年度
青少年交換委員会
委員長 **小菅 和彦** (習志野中央RC)

私たち青少年交換委員にとって1年で一番楽しいイベント、それは交換生の帰国報告会です。今年も11月24日、千葉市文化センター9階の会議室で、帰国生4名のプレゼンテーション形式による報告会を開催しました。

短期の帰国女子学生3名の報告は、どれも写真付きで楽しい内容のものばかりでした。最初の1カ月間は、アメリカ人交換来日生を家に迎え入れました。来日生と一緒に日本のたくさんの観光地に行きました。日光東照宮、浅草寺雷門、スカイツリー、東京ディズニーランドの写真は必ずありました。また、女の子らしく家で一緒にクッキー作りをした写真や、来日生がセーラー服を着て日本の高校に行った写真もありました。

その後、一緒に渡米して、各州各地区へ約1カ月の交換生活をしました。派遣先ホストファミリーと一緒に写った写真、劇場や映画館、コンサートやアメリカンフットボールを観戦した写真、また地元の多くのアメリカ人の友達と談笑をしている写真など、これらはロータリー交換生の役目を果たし、多くの人々との交流をしてきた証です。

次に、長期の帰国女子学生1名の報告がありまし

た。彼女はアメリカのユタ州で約1年の交換生活をしました。冒頭、青のブレザーに100個以上のたくさんのバッジを身に着け登場しました。そのバッジの多さが、世界中の多くの交換生たちとの交流を物語っていました。

彼女も多くの写真を披露してくれました。2つのホストファミリーにお世話になった彼女。それぞれに出会いがあり、共に過ごした数カ月の生活があり、そして別れがありました。同じ地区に集まった各国の交換生5人組はいつも仲良し。たくさんの場所へ行き、たくさん語り、たくさん笑い、時には涙し、これら多くの体験を話してくれました。

異国の同じ年頃の友達と、しかも異国の地でたくさん語り合うことで、日本では経験できない世界との触れ合いを経験をしたのでしょうか。帰国前夜は本気で日本に帰りたくないと思ったそうで、最後の別れは本当に辛かったといいます。今ここで、大勢の前で発表している彼女は、1年前の出発時とは比べものにならないくらい人間としての成長を感じます。

どの帰国生たちも、自信に満ちた発声と笑顔とスピーチ力が素晴らしかった。毎年のことですが、この帰国報告会は、青少年たちの成長を目の前で感じる楽しいひと時です。そして、聴講した中には、約1年後に自身が海外に派遣する候補生6人もいました。この候補生たちが、今回の帰国報告会で受けた影響は計り知れないでしょう。来年の今頃には、彼らの帰国報告を聞けると思うと頬が緩みます。



短期帰国生 (流山中央RC)



発表してくれた帰国生4人



長期帰国生 (成田コスモポリタンRC)

災害対策特別委員会からの報告

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度 災害対策特別委員会委員長
地区幹事長 **堀口 路加** (成田RC)

2019年9月9日の台風15号による暴風、10月12日の19号および10月25日の21号に刺激された低気圧による豪雨で、県内各地に大きな被害がもたらされました。復興に向けて支援を必要とする地域がまだまだ多くあることはご承知の通りです。

地区においては災害対策特別委員会を立ち上げ、甚大な被害を受けた第4グループ(市原)、第5グループ(君津・上総)、第6グループ(館山・館山ベイ・鴨川・千倉・鋸南)、第7グループ(茂原)、第12グループ(佐倉)の各グループのガバナー補佐と関一憲奉仕プロジェクト統括委員長から意見を聴取した上で、ガバナー補佐・地区委員長会議でもそれぞれから意見を聞いて、特に被害の大きかった地域を中心に、年内に第一弾の支援金の配分を行いました。

地区災害支援特別基金口座に寄せられた金額は、2020

年1月17日現在で56,893,157円です。内訳は地区内42クラブおよび地区大会記念ゴルフ大会参加者、女性交流会等からの募金5,995,505円、地区外(32地区)50,897,652円という多額の支援金が届きました。

この中から2019年12月17日付で、第6グループに1,612万円(館山RC400万円、館山ベイRC302万円[浦安ベイRCからの指定支援金2万円含む]、鋸南RC410万円[船橋東RCからの指定支援金10万円を含む]、千倉RC300万円、鴨川200万円)、第7グループに330万円[浦安RCから茂原RCへの指定支援金30万円を含む]、奉仕プロジェクト統括委員会に200万円を配分させていただきました。

今後各地域の復興状況について更に情報を集め、第2弾の支援金を配分するとともに、今後の災害対策支援に向けた必要な備えに充てていきたい考えです。

台風15、19、21号による自然災害に対する支援金集計結果(2020年1月17日現在)

他地区合計	32地区	50,897,652円
地区内合計	42クラブ	5,813,445円
その他(地区内)		182,060円
総計		56,893,157円

他地区

地区	地域	支援金(円)
2500	北海道東部	1,450,562
2510	北海道西部	1,015,886
2520	岩手・宮城	1,406,374
2530	福島	1,500,000
2540	秋田	558,300
2550	栃木	729,600
2570	埼玉西北	300,000
2580	東京・沖縄	2,952,000
2590	神奈川(横浜・川崎)	1,500,000
2600	長野	500,000
2610	石川・富山	1,317,500
2620	静岡・山梨	100,000
2630	岐阜・三重	1,719,763
2640	大阪南部・和歌山	770,000
2650	福井・京都・奈良・滋賀	1,000,000
2660	大阪北部	3,395,414
2670	愛媛・香川・高知・徳島	1,528,500
2680	兵庫	2,422,247
2690	岡山・島根・鳥取	2,455,324
2700	福岡・長崎・佐賀	3,834,561
2710	広島・山口	571,779
2720	熊本・大分	1,000,000
2730	鹿児島・宮崎	1,020,720
2740	長崎・佐賀	1,000,000
2750	東京・北マリアナ諸島他	6,007,703
2760	愛知	3,772,992
2770	埼玉南東	1,400,000
2780	神奈川	1,500,000
2800	山形	800,000
2820	茨城	1,000,000
2830	青森	668,427
2840	群馬	1,000,000
マニラRCから東京RCを通じての送金		700,000
計		50,897,652

地区内クラブ

グループ	クラブ名	支援金(円)	グループ	クラブ名	支援金(円)	
第1グループ	市川	100,000	第8グループ	銚子	30,000	
	市川東	40,000		銚子東	30,000	
	市川南	100,000	第9グループ	小見川	58,749	
	浦安	500,000	第10グループ	成田	100,000	
	市川シビック	35,000		印西	50,000	
		浦安ベイ	20,000		柏	100,000
第2グループ	船橋	230,000	第11グループ	我孫子	50,000	
	船橋西	200,000		柏西	66,144	
	鎌ヶ谷	40,000		柏東	50,000	
	船橋東	100,000	第12グループ	八千代	500,000	
	船橋南	39,000		八千代中央	50,000	
	船橋みなと	100,000		佐倉中央	50,000	
第3グループ	千葉	345,000	第13グループ	松戸	1,081,000	
	新千葉	200,000		松戸東	170,000	
	千葉西	150,000		松戸北	50,000	
	千葉中央	100,000		松戸中央	276,000	
		千葉幕張	222,000	第14グループ	野田	100,000
		千葉東	100,000		流山	30,000
	千葉若潮	100,000		野田セントラル	25,000	
第4グループ	千葉南	53,707	計		5,813,445	
第5グループ	君津	47,745	地区大会記念ゴルフ大会から		142,060	
第6グループ	勝浦	110,000	女性交流会開催時の募金		40,000	
第7グループ	茂原中央	14,100	計		182,060	

* 浦安RCの50万円の内30万円は茂原RCへの指定支援金

* 浦安ベイRCの2万円は館山ベイRCへの指定支援金

* 船橋RCの10万円は鋸南RCへの指定支援金

* この他に習志野中央RCは南房総市へ義捐金50万円を直接送った連絡がガバナー事務所にありました。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー (財団)



畝本 一実
(市川東RC)



平澤 規雄
(習志野中央RC)



朱 孝
(習志野中央RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



畝本 一実
(市川東RC)
8回目



山本 和男
(八街RC)
4回目



大貫 明彦
(市川東RC)
3回目



榎木 勝典
(八街RC)
3回目



内山 貴美子
(君津RC)
2回目



福崎 隆一
(市川東RC)
1回目



山下 清俊
(市川東RC)
1回目



徳永 幸生
(船橋南RC)
1回目



関口 貴之
(松戸西RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



武田 富士子
(君津RC)



鵜田 政明
(袖ヶ浦RC)



荘司 洋樹
(大原RC)



鈴木 伸一
(松戸RC)

ポリオ・プラス



朱 孝
(習志野中央RC)
2回目

米山功労者



平澤 規雄
(習志野中央RC)
11回目



神崎 誠
(成田RC)
7回目



榎木 勝典
(八街RC)
7回目



佐藤 興二
(館山RC)
5回目



池田 博
(習志野中央RC)
4回目



井本 良三
(習志野中央RC)
3回目



木村 卓生
(船橋RC)
2回目



平田 英雄
(館山RC)
2回目



山本 和男
(八街RC)
2回目



伊藤 嘉一
(八街RC)
2回目



山崎 克哉
(市原RC)
1回目



小林 剛
(館山RC)
1回目



榎渡 琢也
(八街RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



三角 芳恵
(佐倉中央RC)
製材
10月2日入会



山浦 恭宏
(八千代RC)
建物建設業
建築鉄骨・金物加工組立
10月25日入会



中川 哲也
(千葉港RC)
飲食業
12月2日入会



鈴木 克友
(館山ベイRC)
コンビニエンスストア
12月5日入会



桑野 博之
(成田RC)
老人介護施設
12月13日入会



梶原 宏氏
(野田RC)
ゴルフ場
1月6日入会



麻生 修平
(柏南RC)
税理士
1月7日入会



司茂 晃史
(習志野RC)
葬儀業
1月8日入会



三代川 寿朗
(習志野RC)
不動産開発
1月8日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2019年12月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	3	42	3	42	4	0
	市川東	100.00	3	42	2	40	2	△2
	市川南	95.00	4	23	2	23	2	0
	浦安	84.60	3	42	1	43	1	1
	市川シビック	85.41	4	33	0	33	0	0
第2グループ	浦安ベイ	92.25	3	15	0	17	2	2
	平均	92.88	3.33	32.83	1.33	33.00	1.83	1
	船橋	92.69	4	30	0	31	0	1
	船橋西	86.03	3	39	7	36	7	△3
	鎌ヶ谷	86.49	3	30	2	29	1	△1
第3グループ	船橋東	88.24	3	29	2	28	2	△1
	船橋南	93.33	4	11	1	13	1	2
	船橋みなと	74.54	4	18	4	19	4	1
	平均	86.89	3.50	26.17	2.67	26.00	2.50	△1
	千葉	81.45	4	96	3	103	5	7
第4グループ	新千葉	82.09	4	55	0	54	0	△1
	千葉西	94.58	4	50	4	53	5	3
	千葉中央	87.32	3	27	0	26	0	△1
	千葉幕張	74.56	3	34	3	37	4	3
	千葉東	78.22	3	29	2	28	2	△1
第5グループ	千葉若潮	77.56	2	30	1	31	1	1
	平均	82.25	3.29	45.86	1.86	47.43	2.43	11
	千葉南	91.11	3	47	7	45	6	△2
	市原	66.61	2	52	4	57	4	5
	千葉港	80.00	2	25	4	27	4	2
第6グループ	市原中央	88.00	4	47	1	46	1	△1
	千葉北	78.15	3	29	4	29	4	0
	千葉緑	100.00	2	21	1	22	2	1
	平均	83.98	2.67	36.83	3.50	37.67	3.50	5
	木更津	76.83	3	31	5	29	4	△2
第7グループ	上富津	63.00	4	14	0	15	0	1
	富津中央	73.31	4	35	2	38	5	3
	木更津東	86.50	3	44	5	45	5	1
	君津	74.09	4	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	89.31	4	24	4	25	4	1
第8グループ	富津シティ	93.33	3	14	1	15	1	1
	平均	79.48	3.57	31.29	3.14	32.14	3.43	6
	館山	85.69	4	46	4	46	4	0
	館山川	78.32	4	34	5	34	5	0
	勝浦	92.05	2	41	5	43	5	2
第9グループ	千倉	58.33	3	4	2	4	2	0
	鋸南	80.00	2	15	2	15	2	0
	館山ベイ	69.45	3	24	0	25	0	1
	平均	77.31	3.00	27.33	3.00	27.83	3.00	3
	茂原	83.02	3	58	4	60	4	2
第10グループ	東金	78.71	3	19	1	21	2	2
	大原	80.00	4	10	1	10	1	0
	大多喜	86.66	3	5	1	5	1	0
	成田空港南	66.21	3	31	0	31	0	0
	茂原中央	72.72	3	20	2	22	2	2
第11グループ	大東	73.56	3	29	1	29	1	0
	東金ビュー	62.50	2	16	1	16	1	0
	平均	75.42	3.00	23.50	1.38	24.25	1.50	6

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	88.03	3	39	3	41	4	2
	旭	71.70	3	43	4	41	4	△2
	八日市場	68.33	3	38	3	39	3	1
	銚子東	78.91	4	33	2	32	2	△1
	平均	76.74	3.25	38.25	3.00	38.25	3.25	0
第9グループ	佐原	80.55	4	48	0	47	0	△1
	多古	74.00	3	16	0	19	0	3
	小見川	90.03	3	27	0	27	0	0
	佐原香取	87.72	3	24	1	23	0	△1
	平均	83.08	3.25	28.75	0.25	29.00	0.00	1
第10グループ	成田	71.13	3	65	4	66	4	1
	八街	93.33	3	30	3	30	3	0
	印西	95.23	3	16	1	16	1	0
	白井	74.99	3	12	1	12	1	0
	成田コスモポリタン	70.96	3	30	0	30	1	0
第11グループ	平均	59.68	3	67	0	72	0	5
	平均	77.55	3.00	36.67	1.50	37.67	1.67	6
	柏	63.08	3	65	10	65	9	0
	我孫子	75.00	4	31	3	32	3	1
	柏西	85.08	4	64	3	61	3	△3
第12グループ	柏東	71.85	3	41	8	39	7	△2
	柏東南	81.36	3	41	9	39	9	△2
	平均	75.27	3.40	48.40	6.60	47.20	6.20	△6
	習志野	77.89	3	24	1	26	1	2
	八千代	91.89	3	52	0	53	0	1
第13グループ	佐倉	70.08	3	37	3	38	3	1
	八千代中央	73.70	3	23	1	25	1	2
	四街中央	73.21	4	29	4	28	4	△1
	習志野中央	64.21	3	47	4	48	5	1
	佐倉中央	78.26	3	23	5	23	6	0
第14グループ	平均	75.61	3.14	33.57	2.57	34.43	2.86	6
	松戸	96.34	3	60	0	59	0	△1
	松戸東	90.40	3	49	0	47	0	△2
	松戸北	73.23	4	33	0	34	0	1
	松戸中央	77.66	4	42	7	43	7	1
第15グループ	松戸西	85.83	4	29	0	29	0	0
	平均	84.69	3.60	42.60	1.40	42.40	1.40	△1
	野田	81.61	4	54	6	53	6	△1
	流山	71.43	3	14	3	14	3	0
	野田東	72.22	3	18	0	18	0	0
第16グループ	流山中央	85.00	3	21	2	22	2	1
	野田セントラル	83.00	4	25	1	25	1	0
	平均	78.65	3.40	26.40	2.40	26.40	2.40	0

クラブ数 82RC		
2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2019年12月末日	地区会員数	2,814人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2019年12月末日	地区女性会員数	211人
	当月平均出席率	80.53%
	増減	+37
	女性会員増減	+10

「ロータリーレート」のご案内

ロータリーレートのご確認につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区HP



ロータリー学友忘年会のご報告

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度 青少年奉仕委員会 (学友会担当)
委員長 山本 美代子 (習志野中央RC)



忘年会集合写真

青少年奉仕委員会は、奉仕プロジェクト統括委員会の中にある委員会で学友会担当です。今年度、諸岡靖彦ガバナー合意の下、国際ロータリー第2790地区ロータリー学友連絡協議会が結成され、これにより学友会ごとの執行部が横のつながりを持ち、スムーズに連携を取り合える環境が整い、2019年最後の事業である忘年会が12月7日、三井ガーデンホテル千葉にて行われました。

米山奨学生、米山学友会、ローターアクト、ロータリー財団学友会、ロータリー学友連絡協議会が参加をし、青少年奉仕委員会は後援として参加をしました。

ロータリアン、カウンセラー、ロータリーファミリーとの交流および親睦を深めることを目的とし、総勢64名の参加をいただき、楽しい時間の共有がで

きました。

忘年会の日程変更により、例年より若干少ない参加人数になりましたが、会場の中はあちらこちらに笑顔があふれ、若者たちとロータリアンが楽しそうに会話がはずんでいました。

また、ローターアクト本宮代表が、全員参加型のゲームを提案し、ロータリアンと若者たちが会場いっぱいになり、笑顔と笑い声で大変な盛り上がりになりました。

最後に大きな輪をつくり、皆でひとつになりロータリーソング「手に手つないで」を歌い、締め括りました。

皆様の御協力をいただきまして、大盛會に終えることができました。



全員参加でゲーム



米山世界大会モンゴルで行われたテーマソング



ロータリアン、奨学生、学友みんなでハイポーズ



台風15号被災地鋸南町からの想い

鋸南ロータリークラブ 幹事 堀田 了誓



2019年9月9日未明、私の住む鋸南町に多大な被害をもたらした台風15号。今までに経験したことのない強風の中、深夜からの停電に不安と恐怖に怯えながらひたすら朝を待つ。寝ることもできず迎えた朝、私の目の前には変わり果てた町並みが広がり、事態が分からずに立ち尽くす人々が至る所にいました。

強風により瓦が広範囲に飛び交い、電柱をひねり倒し、町内の世帯の半数を大きく超える被災家屋を出しました。互いの安否を確認することも困難な中に、この町はありました。

情報が入らない、情報が発信できない状況の不安と恐怖は今も忘れません。私はこの状況で何ができるだろう？ 何をすべきかと考えました。「未曾有の被災の中、人1人で大きなことはできない、ならばやることを今やろう」と、被害の大きな地域に向かいました。知識も経験もなく、事態も把握できない中でも、「今動かなければ」と、その想いだけだったと振り返り思います。

そのような同じ気持ちの町民と、ボランティアに駆

けつけた方々と共に必死に活動し、その出会いにより「この町にボランティア団体をつくろう！」「長期的な復興になるこの町を私たちが支援していこう！」と考え、私とこの被災で出会った仲間とで「鋸南RC有志ボランティアグループ」を立ち上げました。

さまざまな世代、他県からさまざまな職業、学生や多くの女性の方も参加しています。一人一人が自分ができることを通して被災者を救いたい、ただそれだけで現在までこの町で活動しています。ボランティアセンターが閉鎖していき、メディアからも報道されなくなった今、まだこの町には同じ想いで闘っている仲間がいます。辛い被災者だけでなく、支援したい、諦めたくないボランティアの方々も、今、同様に気持ちと闘っています。私はその想いと共に彼らと行動します。

被災地に必要なのは「何ができるか？」だけでなく、「何をし、何ができたのか」が大切です。同じ想いの皆さんの力がが必要です。この想いが届くことを願います。

鋸南ロータリークラブ
Facebook➡

